

<講義コード> 5225101

<開講学部> 教育学部

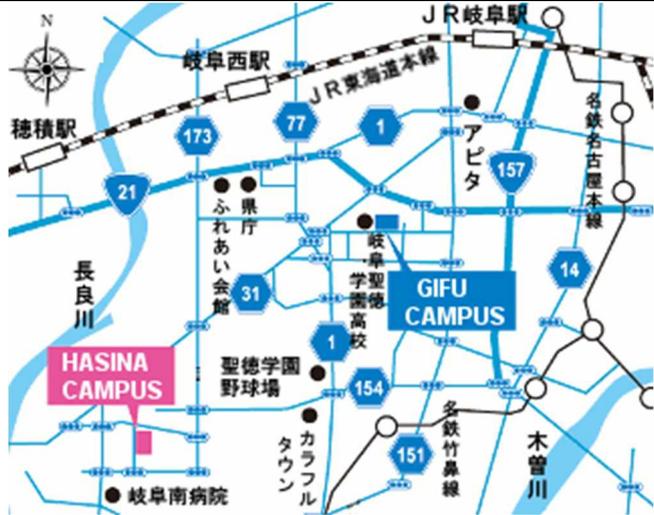
2018年度

科目名	経済学概論 I (国際経済を含む。)	単位	講義区分	担当教員	宮川 典之
	2単位	講義			
期待される学修成果	教科教育 学校と社会			ナンバリング	ED2SSE204
到達目標及びテーマ	現代経済学の基礎はミクロ経済学とマクロ経済学に大別されます。受講生には市場経済がどのように機能しているかについての基本的理解を求めます。最終的には、ミクロの視点とマクロの視点を身につけ、実態経済を総合的に捉える眼を養うことが目標です。				
授業の概略	現代社会について経済はどのように機能しているかについて、経済学の入門レベルから入ります。とくにミクロ経済学の視角を多種多様な経済主体の眼を通して考えます。典型的には与えられた予算制約の下で効用を最大化しようとする合理的な消費者の視点、および与えられた技術制約の下で利潤を最大化しようとする合理的な企業者の視点、および市場経済だけでは解決できない部分をどのようにあつかうのかについての合理的な政府の視点などを順次考察します。なお授業の導入部において、内外の経済に関する時事問題について、および話題を集めている書籍について紹介と解説をするように心がけます。				
授業計画					
第1回	オリエンテーション(経済学を学ぶ心構え)				
第2回	生産と消費と資源				
第3回	市場と資源配分				
第4回	需要と供給の基本的理解				
第5回	需要と価格				
第6回	供給と価格				
第7回	需要と供給との均衡				
第8回	資源配分の決定				
第9回	所得分配の決定				
第10回	市場経済と政府				
第11回	資源配分と政府				
第12回	所得再分配と政府				
第13回	マクロ経済学の基本的理解				
第14回	ミクロ経済学とマクロ経済学との総合				
第15回	まとめ				
	定期試験				
事前学修	2時間	講義予定の事項について教科書の該当する箇所に事前に眼をとっておきましょう。			
事後学修	2時間	授業で学習したポイントについて、章末の練習問題にトライするようにしましょう。			
成績評価方法	割合	評価基準等			
定期試験	80 %	当学期末に筆記試験を実施します。ただし持ち込み不可で実施します。			
レポート	%				
上記以外の試験、平常点評価	20 %	区切りのよいところで小テスト(学習ポイントのチェック)を実施し、受講態度とともに評価します。			
教科書	岩田規久男『経済学への招待』新世社				
参考資料	授業の中で相対的に新しい資料を紹介する予定です。				

(この書式はシラバスとセットにします)

岐阜聖徳学園大学「経済学概論Ⅰ」科目の受講を希望する学生にシラバスに記載されていない情報を提供します。

科目名	経済学概論Ⅰ
時間割	毎週木曜日 2時限目 10時40分開始 12時10分終了
初回の授業日	4月12日(木)
講義室	羽島キャンパス7号館1階7106講義室
注意事項	授業が始まったら、休講などの連絡は学内の掲示板または休講通知メールシステムを使います。
授業についての 問合せ	羽島教務課(058-279-3493)

地図	
交通アクセス	岐阜バス 岐阜駅から「岐阜聖徳学園大学」行乗車。終点下車。
備考	ホームページ : http://www.shotoku.ac.jp/